現場研修事業の概要

１．球磨川流域における令和２年７月豪雨災害復旧事業について

令和２年７月豪雨では、球磨川の多くの観測所で史上最高水位を観測し、本川の堤防が２箇所決壊するなど、本川、支川で多数の土砂堆積や施設被災が発生した。その際、球磨川を渡河している道路橋10橋が流失し、 球磨川沿いの国道219号や県道等（八代～人吉）で土砂流入や流出など各所が寸断され甚大な被害が発生した。

現在、「復旧・復興を加速し強力に事業を推進する」ため、令和３年４月に八代復興事務所が開設され、令和２年７月豪雨災害復旧事業が進められている

被災の状況（国道219号 球磨村）

家屋倒壊の状況（球磨村渡地区）

①　（坂本地区）坂本橋橋梁復旧現場　……　熊本県八代市坂本町坂本

令和２年７月豪雨で流失した坂本橋は、八代市坂本支所の再建計画が、従来の位置付近とすることが打ち出されたため、地域内の利便性を考慮し、現計画の位置での復旧となった。

橋梁形式は、橋長 156mの鋼２径間連続トラス橋となっており、現在Ａ１橋台、Ｐ１橋脚が施工中、Ａ２橋台は完成している。また、上部工については、下部工完成後、架設に着手する計画である。

坂本橋の復旧状況

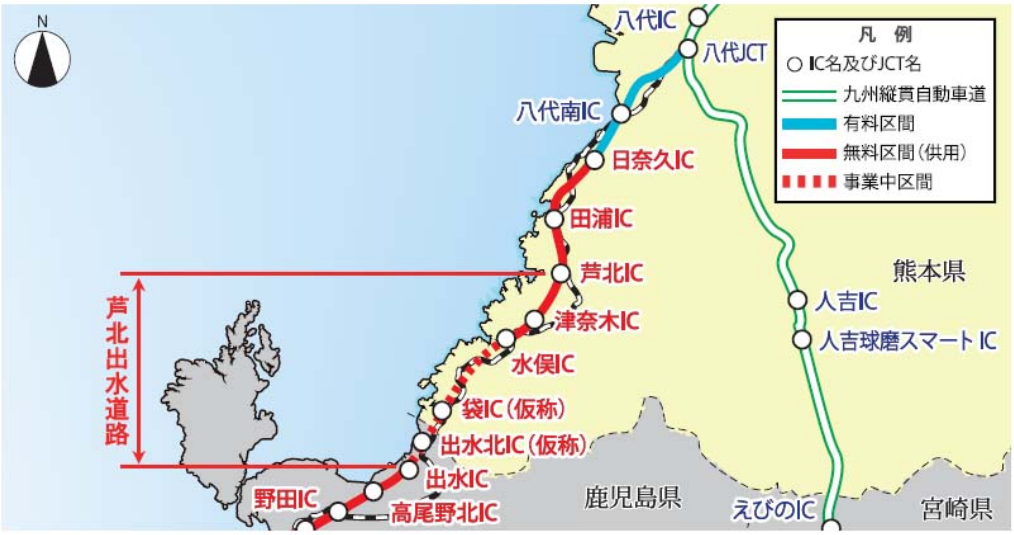
②　（大瀬地区）大瀬橋橋梁復旧現場　……　熊本県球磨郡球磨村大瀬

令和２年７月豪雨で流失した大瀬橋は、流域自治体からの復旧範囲の要望や、現地での地形を考慮し、現計画の位置での復旧となった。

橋梁形式は、橋長131mの鋼２径間鋼床版箱桁となっており、現在Ａ１橋台、Ｐ１橋脚、Ａ２橋台が施工中である。また、上部工については、下部工完成後、架設に着手する計画である。

大瀬橋復旧状況

２．南九州西回り自動車道（芦北出水道路）建設事業について



南九州西回り自動車道は、八代市を起点とし、水俣市、出水市、薩摩川内市を経て鹿児島市に至る全長約140kmの高規格幹線道路である。

この自動車道の一部を形成する「芦北出水道路」は、災害時の代替路の確保や地域産業の活性化等の支援を目的とした道路で、熊本県葦北群芦北町花岡から鹿児島県出水市下知識に至る計画延長Ｌ＝29.6kmの自動車専用道路である。このうち、熊本県側のＬ＝21.8kmと鹿児島県側のＬ＝7.8kmを八代河川国道で整備している。

①　熊本3号境川橋下部工（Ｐ１）工事

境川橋は南九州西回り自動車道「芦北出水道路」の一環として、熊本県と鹿児島県の県境をまたぐ橋梁であり、市道及び県境を流れる境川を横断する幅10.15m、全長231mの橋梁である。

現座鹿児島県側(102m)の橋梁は完成しており、現在橋台(Ａ１)及び橋脚(Ｐ１)の施工中である。

この内、今回対象となる境川下部工（Ｐ１）は、高さ19.5m、基礎工は大口径深基礎（直径8m）を有する橋脚である。

……　熊本県水俣市袋地内

② 鹿児島3号美原橋上部工（Ａ１～Ｐ３）工事 …… 鹿児島県出水市美原町地内

美原橋は南九州西回り自動車道「芦北出水道路」の一環として、鹿児島県側の7.8kmのうち、出水市美原町に位置し、市道及び肥薩おれんじ鉄道を横断する幅10.15m、全長254mの橋梁である。

この内、今回対象となる美原橋上部工（Ａ１～Ｐ３）は、市道及び肥薩おれんじ鉄道を横断する全長310ｍの橋梁である。この内今回対象工事は、幅10.15m、全長119.0mのプレストレストコンクリート製の３径間連続Ｔ桁橋である。

＜架設工法について＞

架橋位置が市道上であり、また近接して民家が存在するなどの制約が多い施工条件下のため、クレーン併用架設桁架設が採用されている。通常の架設桁架設においては、架設桁上を製作したＴ桁を移動し、門構（門型クレーン）にて横取りして正規の位置にＴ桁を設置する工法が普通であるが、近接した民家のため門構が設置できないため、横取り作業をクレーンにて実施するものである。

通常の架設桁架設工法

クレーン併用架設桁架設工法